

三保松原の持続可能な保全に向けて “全国初”となる新たな組織を設立

名勝三保松原の管理団体である静岡市は、静岡県、民間事業者と協働して、平成31年4月に「(仮称)一般財団法人三保松原保全研究機構」を設立し、三保松原文化創造センター内に置く。機構は、行政、地域住民、NPO、企業等が行っている三保松原の松林の保全活動をより円滑に実施するための土台となり、その活動を通じて、三保松原の保全活動を展開する仕組みづくり・人づくりを促進する。

1 組織設立の背景

- (1) 三保松原の松林保全技術会議からの提言(平成26年12月)
人とのかかわりの中で、三保松原の松林を守り、育て、活かし、次世代に継承していくための拠点となる「三保松原保全センター(仮称)」の設置を提言。
- (2) 第8回三保松原保全実行委員会での決定(平成29年12月)
地域社会が一体となって三保松原の日常的・専門的な管理を行うよう、公民連携による新組織を三保松原ビジターセンター(仮称)内に設置し、新たな管理体制を構築する方向で検討を進めることを決定。

2 新たな管理組織の体制

- (1) 組織形態
一般財団法人
- (2) 名称
(仮称)一般財団法人 三保松原保全研究機構
- (3) 所在地
三保松原文化創造センター2階(静岡市清水区三保1338-45)

3 一般財団法人の設立

- (1) 設立者
静岡市、静岡県、民間事業者(はごろもフーズ(株)ほか数社)が出捐し、設立。
- (2) 出捐金
静岡市300万円、静岡県300万円 ※平成30年度2月補正予算案として計上
各民間事業者も同額を予定
- (3) 設立時期
平成31年4月(平成31年3月登記申請)

4 事業内容

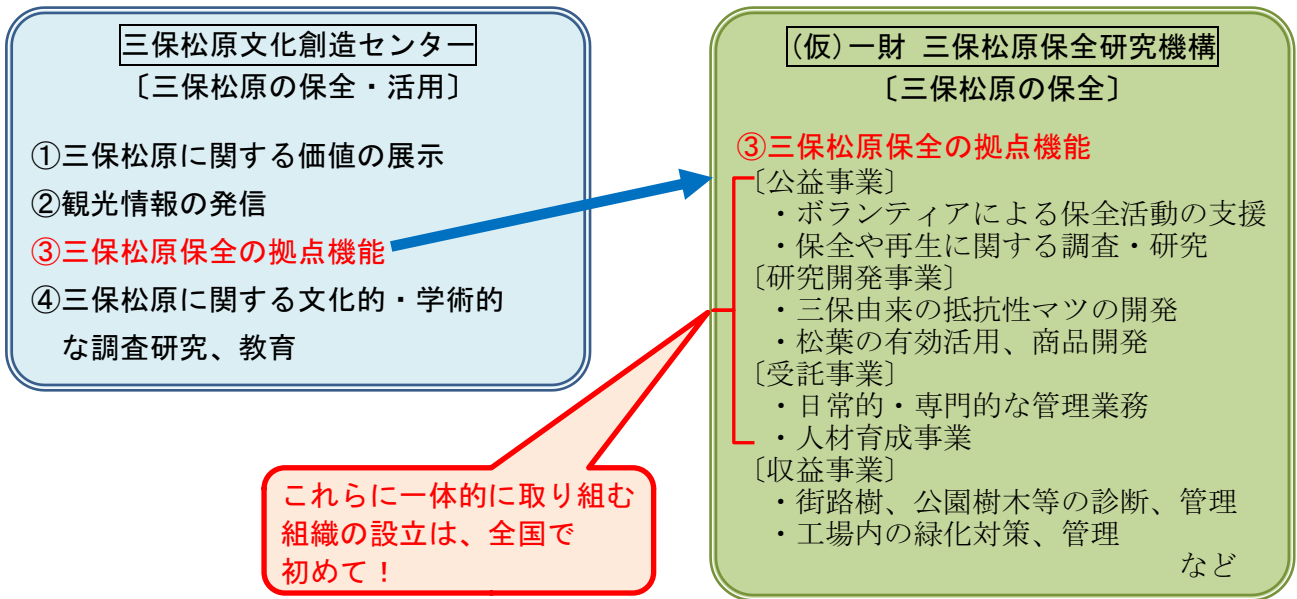
- (1) 公益事業
 - 保全団体、企業等による保全活動の支援(日程、活動場所の調整、器具の貸出、活動成果の発表 など)
 - マツの保全や森林生態の研究者、試験機関との連携による松原の保全や再生に関する調査、研究、発表 など
- (2) 研究開発事業
 - 三保由来の抵抗性黒松、菌根菌共生松の開発
 - 松葉の有効利用の検討、松苗を用いた商品開発 など
- (3) 受託事業
 - 日常的・専門的管理業務(松の個体調査、マツ材線虫防除 など)
 - 人材育成事業(研修会の開催 など)
- (4) 収益事業
 - 街路樹に対する診断及び調査、管理
 - 公園、緑地の樹木、銘木に対する診断及び調査、管理
 - 工場内の緑化対策、管理

三保松原文化創造センターと三保松原保全研究機構の役割

三保松原文化創造センターは、「①三保松原に関する価値の展示」、「②観光情報の発信」、「③三保松原保全の拠点機能」、「④三保松原に関する文化的・学術的な調査研究、教育」を行い、三保松原の保全と活用の両方の機能を持つ。

(仮称)一般財団法人 三保松原保全研究機構は、このうちの「③三保松原保全の拠点機能」を担う組織として設立する。

【三保松原文化創造センターの機能】



【三保松原文化創造センター 建物の配置】

